

第十課 骨折

- 洋子 どうしたの。
- サイモン 折っちゃったんだよ。
- 洋子 そのくらい見ればわかるわよ。
- サイモン 全然同情してくれないんだな。
- 洋子 だって、スキーみたいな危ないスポーツにわざわざ出かけていく人の気が知れないわ^①。
- サイモン 君はスキーやったことないの^②。
- 洋子 そんなことないわよ。三回も行ってるけど^③ちっとも面白いと思わないわ。
- サイモン へえ。スキーをやったことがあって、それで面白いと思わない人がいるなんて信じられないな。あんなに面白いスポーツはないと思うけど。
- 洋子 だってみんな骨を折ったり、捻挫をしたりして帰ってくるだけじゃい。
- サイモン それは大げさだよ。僕がただ運が悪かっただけさ。
- 洋子 まあ、起きてしまったことはしょうがないけど。確かに運が悪かったみたいね。一日目だったんでしょ。
- サイモン うん。昼ごろ着いて滑り出したから、まあ少しは楽しめたけどね。
- 洋子 上手なんでしょ。スキーは。
- サイモン まあまあかな。子供の時から毎年行ってたから。
- 洋子 それがどうして足の骨を折ることになっちゃったわけ^④。
- サイモン 上手下手と骨折は関係ないんだよ。まあちょっと自信過剰だったというか^⑤、調子に乗り過ぎていたとは言えるかもしれないけど。
- 洋子 どうして。
- サイモン 日本でスキーをすとは思ってなかった^⑥から何から何まで借りたんだ。
- 洋子 このごろ何でも借りられるのね。
- サイモン そうだよ。スキーやストックだけじゃなくてくつまでちゃんとサイズがそろっていて、僕みたいな大きな足でも大丈夫だったんだから。

- 洋子 それで。
- サイモン だから、ちょっと慣れるまでは気を付けなくちゃと思って^⑥、最初は中級のゲレンデで滑ってたんだけど、そのうち調子が出てきたんで、リフトで一番高いところまで行ったんだ。すべり始めた時はよかったんだけど、そのうちかなり傾斜のあるスロープになって、加速もついてきて…。
- 洋子 ステンところらだってわけね^⑦。
- サイモン まあね。
- 洋子 すぐに骨が折れたってこと^⑧自分で分かった。
- サイモン それほどはっきり分かったわけじゃないけど、やっぱり普通ころらだのとはちょっと違った感じで、「しまった！」とは思ったな。
- 洋子 それで、どうしたの。
- サイモン すぐ後ろから滑ってきた人が止まってくれて、僕が動けないって言ったら下から助けの人を呼んでくれたからよかったけど。
- 洋子 動けなかったんならどうやって下りてきたの。
- サイモン スキー場の救援隊の人達がそりの上に担架を乗せたようなものを持って上がってきてくれたので、それに乗せられて降りたんだよ。
- 洋子 へーえ。恥ずかしかったでしょ。
- サイモン それどころじゃなかったよ^⑨。痛くて。
- 洋子 すぐに病院へ行ったの。
- サイモン うん。まあ。僕達の泊まっていた旅館のおじさんは骨折なんか扱い慣れてる^⑩のか、ちょっと足を動かしてみただけで、「ああ、こりゃ折れてる、折れてる」なんて言うんだ。
- 洋子 それで救急車を呼んだの。
- サイモン うううん。そのおじさんが町の病院まで車で連れて行ってくれたんだ。
- 洋子 雪の道大変だったでしょう。
- サイモン うん。雪はかなり積もってたけど、一日二回は除雪車が通るし、あの辺の車はみんなチェーンをつけてるから。それに雪道の運転にも慣れてるようだったし。
- 洋子 親切にしてくれたのね。

- サイモン そう。病院には二日いたんだけど、その間も本当にお世話になっちゃった[㊦]。
- 洋子 よかったわ。昔は骨折っていうと町の骨つぎのお医者さんに行ったもん[㊦]だけど、このごろはみんな病院に行くのかしら。
- サイモン うん。小さな町だったけど、病院はかなり立派だったよ。
- 洋子 それで足の方はちゃんとともと通りになるの。
- サイモン なるよ。すぐにレントゲンをとって、お医者さんが僕にも見せてくれたけど、複雑骨折じゃないので問題はないでしょうって。
- 洋子 最初は寝たつきり[㊦]だったんでしょ。
- サイモン うん。でも三、四日したら松葉づえをつけば歩けるようになったし。
- 洋子 ギブスはいつごろとれるの。
- サイモン あと一ヶ月半ぐらいはかかりそうだな。
- 洋子 痛みは。
- サイモン 最初はかなり痛かったけど、もう大丈夫。それよりギブスに入っている部分がかゆくて仕方がないんだ[㊦]。
- 洋子 そうでしょうね。洗えないんですものね。ところで費用の方は。かなりかかったんじゃない。
- サイモン うん。でもイギリスを出る時に一年の旅行者用の医療保険をかけてきたから払い戻しがきくと思うんだ。
- 洋子 あら、でもスキーの事故の場合は特別の保険に入っていないとだめなんじゃないかしら。
- サイモン まさか。そんなこと言わないでくれよ。心配になってきたなあ。

1 気が知れない

This verb 知れる is the intransitive partner of the verb 知る. See *IMJ*, 43.10 for a list of these pairs. It therefore has the meaning 'become known' or 'be known' and you will find that it has its own dictionary entry. Although you may well find yourself translating it as if it were a potential, 'I just can't understand...', note that it is not in fact a potential in Japanese.

勝負がつくまでにあんなに時間のかかるクリケットなんかに夢中になる人の気が知れないと思っている日本人が多いらしいよ。

最近は少しは変ってきたかもしれないが、三十年前には大学で日本語を勉強したいなどと言うとそんな人の気がしれないと言われました。

2 スキーやったことないの

Another example of particles being omitted (see Lesson 4, note 1). What underlies this sentence is スキーはやったことがないの. For this sentence-ending の see *IMJ*, 24.2. At that point we identified it as 'by and large' used by women, but it is perfectly acceptable here coming from a man, because the conversation is informal.

3 三回も行ってるけど

Short for 三回も行っているけど. In *IMJ*, 17.1 you learned that 行っている means 'has gone and is not yet back'. Here the context is such that 行っている cannot mean 'have gone and am still there'. ~ている in this case is used to express the present relevance of past actions; not 'I went three times' but 'I have been three times'.

アメリカへは出張で十回以上も行っていますがどうもなじめない国ですね。彼とはもう何度か飲んでますが、そういう話をするのはまだちょっと。

4 折ることになっちゃったわけ

Note the contractions here: なっちゃった is なってしまった. わけ is here used simply in its sense of 'reason'. 'So what is the reason you went and broke your leg?' In *IMJ*, 26.4 you met ことになる meaning 'it has been decided that...' Here there is no sense of decisions being made; it is simply 'you ended up by...' (lit. 'it became a thing of...').

そんなつもりは全くなかったんだけど結局私が一人でその仕事をする事になっちゃった。

大変なご迷惑をおかけすることになってしまい誠に申し訳ございません。こういうことになってしまった原因はすべて私にあります。

5 ちょっと自信過剰だったというか

～というか 'shall we say...?' Observe the following examples:

あの人はせっかちというか、一つのことが終わるとすぐに次のことを考えているみたいね。

彼女は人がいいというか、人から何か頼まれるといやとは言えないでどんなに忙しい時にも引き受けてしまうようですよ。

あの人は劣等感のかたまりというか、人が何か言うとすぐに自分が批判されていると思うから困るんですよ。

6 とは思ってたかった

In informal conversations such as these, contractions are very common. This is a contracted form of *とは思っていなかった*. Six lines further on you will find *気を付けなくちゃ*と*思*って, a contraction of *気を付けなくては*[ならない]と*思*って.

7 ステンところんだってわけね。

This is a contraction of *ステンところんだ*というわけね (see Lesson 7, note 1 for more on *わけ*). What role is *わけ* playing here? Given that its basic sense is that of 'meaning' or 'reason', it is used to pick up a previous comment and finish it off 'and so what you mean to say is you...'

せっかく準備をして待っていたのに一言「予定変更のため行かれません」と電話で言われて、あなたとしてはがっかりしてしまった(という)わけね。

それじゃあ、彼は清水さんが来るんなら来ないっていうわけ。ずいぶん大人げないのね。

8 骨が折れたってこと自分で分かった。

Note that this sentence is in fact a question, with rising intonation at the end. *折れたってこと* is a colloquial form of *折れた*ということが: 'did you realize that it had broken?' One common mistake made by English students of Japanese is to translate 'understand that' by *と分かる*, and 'know that' by *と知っている*, on the assumption that these two verbs operate in the same way as *と言う* 'say that', *と* *思*う 'think that',

and と考える 'consider that'. But 分かる and 知っている are not really quotation verbs and are not normally used with と. They are more likely to be preceded by と いうこと; sometimes just こと is possible.

彼が離婚したということは知ってますよ。

I know he's divorced.

To say *彼が離婚したと知っています here would be wrong, because the situation demands not a quote but a full clause. It is the same in the following examples:

彼が時間通り来ないこと（ということ）は初めから分かっていました。
 教えてみて初めて英語はとても難しい言語なのだということが分かった。
 一応納得したような顔はしているが心の中では相当割り切れない気持ちを持
 っているということはよく分かっています。

The only time when you will find と分かる and と知る is when these verbs denote sudden realisation:

弟は自分の負けだと分かるとゲームの途中で泣き出した。
 ちっとも似てないから一度会っただけでは実君が正君の弟さんだとは
 分からなかったなあ。
 彼は解雇されると知って辞職願いを出したのかもしれないよ。
 彼が会社をやめたとは知らなかったなあ。

9 それどころじゃなかったよ。

それどころじゃない or それどころか is a phrase meaning 'on the contrary' or 'far from that'.

澄子 お正月の支度で忙しいんじゃない。

陽子 それどころじゃないのよ。父が急にカナダに転勤になったので
 その準備で大変なのよ。

青木 この前言ったロンドンに転勤するかもしれないっていう話
 どうなった。

大井 それが、それどころじゃないんだよ。僕が担当してたプロジェクトが失敗しちゃってさあ。まだどうなるかわからないけど、どっか小さな支店に飛ばされることになるんじゃないかと思うんだ。

10 扱い慣れる

The conjunctive form + 慣れる means 'be used to...'

ペンはやっぱり使い慣れているのが一番ですね。
そんな普段し慣れないことを急に始めるから足をくじいたりするんですよ。

日本ではほとんど名字ばかり使うので、外国へ来て「康子」なんて呼びかけられると聞き慣れていないので自分の名前なのにとまどってしまいます。

There is a further use of this verb, but attached to a noun with no intermediate particle.

二十世紀の音楽は耳慣れるまで時間がかかりますね。
彼はとても旅慣れているから、ヨーロッパへ行く時もまるで国内旅行に出るような気軽さで出かけるんですよ。
あの人は世慣れているというのか、どんな場に出ても物慣れた態度で対処出来るようですね。

11 世話になっちゃった

Study the following three pairs; they are sometimes confused by students.

世話をする, 'help someone', where the subject is the giver

世話になる, 'be helped', where the subject is the receiver

母が留守の間は私が病気の父の世話をします。
イギリスではスミスさんご夫婦に大変お世話になりました。

相談にのる, 'advise someone', where the subject is the giver

相談をする 'discuss with someone', where the subject is the receiver

いつでも相談にのりますから、何か困ったことがあったら遠慮なく
いらっしゃい。

あの先生に相談するといつも何かいいアイデアを出して下さるんだ。

面倒をみる 'look after someone', where the subject is the giver

面倒をかける 'be a bother to', where the subject is the receiver

主人は面倒くさい面倒くさいと言いながらも、学生の面倒をみるのが好きな
ようですよ。

旅行中に病気になって、宿の人にはずいぶん面倒をかけてしまった。

12 Use of もん／もの

骨つぎのお医者さんに行ったもんだけど 'It used to be the case that...' or 'I
remember we used to...'. This use of ものだ almost always has a touch of
remembering something about it:

学生のころは合宿に行くと寝ないで語り明かしたものでしたね。

おじいさんの頃には外国へ行く時にも外貨の持ちだしに制限があったので
ずいぶん苦労したものだ。

13 寝たつきり

The ~た form + つきり means that the result of an action continues on for some
considerable time. つきり is fairly colloquial; you will also find just きり.

社会の高齢化が進んだために、寝たきりの老人をかかえている家庭が
相当ある。

いとは気分転換にちょっと外国旅行をしますと行って出かけたつきり
うんともすんとも言ってこない。

あの子は気分を害すと自分の部屋に入ったつきり何時間でも出てこないん
ですよ。

A few verbs can be used with ~つきり following the conjunctive form:

部長は仕事は部下に任せつきりで、ゴルフばかりしている。

母は祖父につきっきりで看病をしている。
課長は社長のお相手にかかりっきりで、他の人のことは眼中にないみたいだ。

それ etc. can also be followed by っきり producing forms such as それっきり, あれっきり and これっきり.

それっきり音沙汰がないんですか。
あれっきり電話もかけてこないんですか。
これっきりのお金で東京で生活が出来ると思っているんですか。

There is a similar pattern that you will find with ～まま. By and large the perfective + っきり is interchangeable with the perfective + まま, but occasionally there is a difference. Observe the following. In the first case, with ～まま, the emphasis is on the fact that the man continues to stay in a state of sitting even when his boss turns up. In the second case, with ～っきり, the emphasis is more on the act of sitting, which has then been followed by no action.

彼は社長が部屋に入ってきてても座ったままで立とうともしない。
よほど疲れているのか、彼女は座ったっきり立ち上がる元気もないようだ。

In the following examples, however, the two patterns are not interchangeable. In the first case with ～まま it is again the continuing state that is important. In the second example something has occurred, only to be followed by no other action.

三ヵ月前に一度降ったきりこのところずっと雨が降らないので水不足が心配されている。
雪はやんだが気温が低いせいか庭の池には氷が張ったままだ。

14 かゆくて仕方がない

仕方がない on its own simply means 'there's nothing you can do [about it]' or 'that's too bad'. Here, linked to the ～て form it means 'terribly'.

夕べは友達と夜中過ぎまで飲んでしまったので今日は眠くて仕方がない。
今日は特に気温が低いわけでもないのに熱のせいか寒くて仕方がないんです。

Exercises

1 Use the following phrases to create a sentence. Try to subordinate the phrase and feel free to change tense/aspect.

(a)

世話になる

世話をする

相談する

相談にのる

面倒をみる

面倒になる

診察する

診察を受ける

(b)

読み慣れる

行き慣れる

運転し慣れる

扱い慣れる

見慣れる

聞き慣れる

座り慣れる

住み慣れる

2 Complete the following sentences.

十二時のバスに乗りたいの？走れば…

頭痛ですか？この薬を飲めば…

ユーロとの交換レートですか？正君に聞けば…
ドイツ語で手紙を書かなきゃならないの？ハンスに頼めば…
宝くじ買ったの？運がよければ…
東京から札幌までですか？飛行機で行けば…

3 Translate the following sentences into Japanese.

I forgot to bring my dictionary with me.

I am looking forward to your party.

I look forward to seeing you in Tokyo next week.

I didn't know that John was your cousin.

I don't know how he feels about it.

I remember well that it was very cold when I first came to Cambridge in May 1996.

I promised my father that I would write to him at least once a month.

Can you remember when you first came to Cambridge?

I knew that he would decline.

I thought he would decline.

I have a feeling that he won't come.

Word List

骨折	<i>kossetsu</i>	broken bone
折る	<i>oru</i>	break
同情	<i>dōjō</i>	sympathy
気が知れない	<i>ki ga shirenai</i>	see note 1
捻挫	<i>nenza</i>	sprain
大げさ	<i>ōgesa</i>	exaggeration
自信過剰	<i>jishin kajō</i>	overconfident
調子に乗る	<i>chōshi ni noru</i>	let oneself go
ストック	<i>sutokku</i>	stick (ski)
サイズ	<i>saizu</i>	size
中級	<i>chūkyū</i>	intermediate
ゲレンデ	<i>gerende</i>	slope
調子が出る	<i>chōshi ga deru</i>	hit one's stride
リフト	<i>rifuto</i>	lift
傾斜	<i>keisha</i>	slope
スロープ	<i>surōpu</i>	slope
加速がつく	<i>kasoku ga tsuku</i>	get faster
ステンところぶ	<i>suten to korobu</i>	have a sudden fall
しまった	<i>shimatta</i>	blast!
救援隊	<i>kyūen-tai</i>	rescue team
そり	<i>sori</i>	sledge
担架	<i>tanka</i>	stretcher
乗せる	<i>noseru</i>	put on
恥ずかしい	<i>hazukashii</i>	embarrassed
～どころじゃない	<i>~dokorojanai</i>	see note 9
救急車	<i>kyūkyū-sha</i>	ambulance
積もる	<i>tsumoru</i>	pile up
除雪車	<i>josetsu-sha</i>	snow plough

骨つぎ	<i>honetsugi</i>	bone setting
もと通り	<i>motodōri</i>	as before
レントゲン	<i>rentogen</i>	X-ray
複雑	<i>fukuzatsu</i>	complicated
松葉づえ	<i>matsuba-zue</i>	crutches
ギブス	<i>gibusu</i>	plaster
かゆい	<i>kayui</i>	itchy
費用	<i>hiyō</i>	cost
かかる	<i>kakaru</i>	cost
払い戻しがきく	<i>haraimodoshi ga kiku</i>	refundable
勝負がつく	<i>shōbu ga tsuku</i>	get a result
クリケット	<i>kuriketto</i>	cricket
夢中になる	<i>muchū ni naru</i>	be absorbed in
なじむ	<i>najimu</i>	get used to
結局	<i>kekkyoku</i>	after all
迷惑をかける	<i>meiwaku o kakeru</i>	cause trouble
誠に	<i>makoto ni</i>	sincerely
原因	<i>gen'in</i>	cause
せっかち	<i>sekkachi</i>	hasty, impatient, restless
人がいい	<i>hito ga ii</i>	good natured
劣等感	<i>rettōkan</i>	inferiority complex
かたまり	<i>katamari</i>	bundle, lump, pack
がっかりする	<i>gakkari suru</i>	be disappointed
大人げない	<i>otonage nai</i>	childish
離婚する	<i>rikon suru</i>	divorce
言語	<i>gen'go</i>	language
一応	<i>ichiō</i>	for the time being
納得する	<i>nattoku suru</i>	be convinced, consent to
割り切れない	<i>warikirenai</i>	unconvinced
負ける	<i>makeru</i>	be beaten, lose
ゲーム	<i>gēmu</i>	game

似る	<i>niru</i>	resemble
解雇する	<i>kaiko suru</i>	dismiss, discharge
辞職願	<i>jishoku negai</i>	letter of resignation
正月	<i>shōgatsu</i>	New Year
転勤になる	<i>tenkin ni naru</i>	be transferred
失敗する	<i>shippai suru</i>	fail
飛ばす	<i>tobasu</i>	demote to, cast aside
普段	<i>fudan</i>	normally
名字	<i>myōji</i>	surname
康子	<i>Yasuko</i>	given name
とまどう	<i>tomadou</i>	feel confused
世紀	<i>seiki</i>	century
気軽さ	<i>kigarusa</i>	light-heartedness
世慣れる	<i>yonareru</i>	cut one's eyeteeth
物慣れた	<i>mononareta</i>	experienced
対処する	<i>taisho suru</i>	deal with
合宿	<i>gasshuku</i>	student outing
～明かす	<i>~akasu</i>	spend the night ...ing
持ちだす	<i>mochidasu</i>	take out, carry away
制限	<i>seigen</i>	restriction
高齢化	<i>kōreika</i>	ageing
かかえる	<i>kakaeru</i>	carry, hold
家庭	<i>katei</i>	home
気分転換	<i>kibun tenkan</i>	change one's mood
気分を害す	<i>kibun o gaisu</i>	get annoyed
任せる	<i>makaseru</i>	entrust
ゴルフ	<i>gorufu</i>	golf
つく	<i>tsuku</i>	stick to
看病する	<i>kanbyō suru</i>	nurse
眼中にない	<i>ganchū ni nai</i>	take no notice
音沙汰	<i>otosata</i>	news

立ち上がる

tachiagaru

stand up

水不足

mizu busoku

water shortage

張る

haru

spread over